

石濱知行 いしはら ちかちか 經濟學者。明治二十八年二月、二十六年兵庫縣淡路島  
 生れ、昭和二十五年八月一日歿（一九五〇）。筆名 T・I 生。大正  
 九年東京帝國大學法學部卒。ドイツ留學後、九州帝國大學法文學部教  
 授也。昭和二年共產黨員（齊檢舉）（三・一五事件）に關聯して辭職。  
 『讀賣新聞』論說委員を経て、戦後九大經濟學部教授に復歸。中國研  
 究所理事。

著書の『闘争の跡を訪ねて』（大正十五年四月十五日同人社書店）、  
 『アメリカ資本主義發達史』（昭和五年五月五日千倉書房）、『重慶  
 戰體制論』（昭和十七年六月二十日中央公論社）、『風塵録』（昭和  
 十七年十月二十日三省堂）、『清郷地區』（昭和十九年一月十日中央  
 公論社）、『マルクス主義の生涯と思想』（昭和二十一年七月二十日、  
 十一月十日二見書房）、『新中國論』（昭和二十一年七月一日實業之  
 日本社）『中國新書』（『資本主義成り史』（昭和二十二年十一月一  
 十日河出書房）『社會主義經濟學』（）等。

